

教材名	
「おしくら・まんじゅう」 キャラクター人形	
教科・領域等	
おはなし活動	
ねらい	
• 人形の動きや音、感触などでおはなしのキャラクターを感じ取り、感じたことを自分なりに表現する。	
対象とした児童・生徒の実態、障がい・行動の特性等	
• 病棟でのベッドサイド学習が中心。 • 視覚に比べて聴覚や触覚が優位。 • 口や目の動きで感じたことを表すことが多い。	
ポイント（使い方・工夫した点・支援について等）	
• 児童の視野や手のひらに入るほどの大きさ。 • 絵本（かがくいひろし作 「おしくら・まんじゅう」）の挿絵を真似てそれぞれ表情を変えた。 • 新聞紙を芯にして色画用紙をほぐしたものをちぎり絵のように貼り重ねて、しっかりした強度と手触りにした。 • 教師が手に持って台詞を言いながら操作。ときどき互いをぶつけて音を出したり児童の手などに触れさせたりする。	

備考 ・生徒机より大きいですか。 はい ・ いいえ  
（具体的な大きさ： ）  
・特別に必要なものはありますか。（PC を使われる場合、電源など）  
（ ）